

吃遍天下酒好

岡田宇土

恥安は勞務供給にお手付けとなり、保健所
ロドヤに立ち入ることを避け、社会保障の光
の当たらない谷風にされてしまつて、こゝろを
暗く、大都會の孤島、金々時は、公民的な社
会と、偽善的な生活慣習にそりの合ぬない人
々の群れを、ふところの招きこみでかくれ
る。

エライ人達は、二の金々時をアイリン地
へ二水ほどイヤな呼ぶ名は顔を見ないしと叫
ぶことにし、この地では朝から酒を売ると
と言つて、この地にもある。どうもエライ人の言
う事はよく判らない。差別の重複である。

トラさんじゃなけれは、兄談言、ちやい
けないよ……だ。日本國中どこを探しても、
朝から酒を売つてない所はないよ……な。
年中無休の二十四時間営業である。その代

都合のよいモノになれという事だけなんだ。

前休意欲者々の人々に仕事に用意してから
あつてイタダキたいものだ。町を明るくす
ること、根本が抜けてる所だ……。
兄談言、ちやいけなさい。酒は我々の友人
なんだ。仲間なんだ。我々の血なんだ。
被押匠園の方々に申し訳ないが、こゝろは
エマーイ箱のような寝床を、酒と話がささる
のは我々だけなんだ。

のし屋さん、新聞紙の切れ指しに七味唐
ガラシを多量目にイタダク。酒屋さんに入る
前に、稀業の専横で少量の木と飲んだおく。
おもむろに徒ま体境を染しんから、射を
一息に飲む……。是をのりて出る。とう紅球
をなれ日か思案に向いてくる。或いは限りに
め入好前庭にもなる。

冷房も スラム企業の ぼくの果て。

表である人をクツたような自動販売機なんか
増える一六ビシ。返垂の代りにガタンと失礼
は音を出して、黙つてつ？。値上げして行き
やがる。そのうえ釣銭まで、邦産くさから平
にこ、ちがどり出してやるんだぞな。

エラ 人達は、我々を朝から酒飲んぞ仕事
に行かないとか、暴れる原因になるとか、言
いたいのかな……。
又々兄談言、ちやいけなさいよ……。我々
は先ず仕事なのである。仕事に用意する能力
をなれまま、朝から酒を売ると……。どうも
エライ人の言うことは変、ころな。

他収入の人達が泊るトコロの不法な値上げ
には何も御言はないよ、昔のバカみたいにな
買物語のように行儀よくしろ、と言う。行儀
よく……。というこゝろ、エライ人達にと、こ

酒を二ハイ以上飲んだ時の癖。

①星下りの服装、氏名、住所、職業を教えて
もらひにくくなる。

②よその國のスラムやドヤ街にくらべて、巾
が金々時は外国人が少むいのはどうして
だろうと考えはじめれる。

③良共という事を納得いくまき、税明してく
れる人を探してみにくくなる。

④スラム企業の人非人ぶりと釜の商人優位の
姿にハラが立ってくる。

⑤ケイリツは、違法行為とかは取り締らな
ぬんだが、と△公園の人世をヨロコブ。

⑥拘束所や刑務所にはなんの罪もない人が、
米山居られる人だらうな……。と胸が痛くは
てくる。

⑦暖房から秋口にかけては、我々タンケツし
て青カン前行をやるべきだ、と腹話した
くな、てくる。

俺の好きな店 嫌いな店

一本歌也

酒屋の良川店

①矢野酒店、この店はめし屋崎集にあつた、しん平一の並びにあり、カレハ平住宅の並ぶにある。釜の弁ム者なら大体は知つてゐるであらう。矢が天ぷらが安くてうまい。季節の料理もあり、夕方は酒席で一才入り込むとは吾好するが、釜では一番安く、ボリコムのあるアテがある。但し夕方六時半迄、太ったオバケ、二人も愛理がいい。

②丸美酒店、大和屋の前。この前に隣にエメリヤの並ぶ。姉弟をやってゐる店も、何よりも清ケツ。釜を二川程キレイ好きだ店も、やうぢいと思う。ここはホルモンはあんがいイケルし良心的である。五時から七時頃迄はいつもこんぶいる。ローヌ焼の〇〇、タン焼一〇の四舞、夜十一時迄や、これら。

悪い店は余りに多いのを書くのにあはばず。

全体に、早朝に行くとは昨夜の刀ニガマシを飲まされる。それにロニター耐立の屋台。コンろが川さく、その川さくコンろの工が空いてゐるのは長分が悪い。酒のみは十三十三と注がれたコップに口を迎えに行くのがいい人だよ。イジマシイネ、酒のみは、全く。

酒唄 三題

中西和男

仏生会へは行かぬ。と駄々こねし我に徳剣を振きし母よ、この焼酎呑み至今一度よい此つて下さい。天工の母よ

甘茶より、焼酎を一杯 天取廻様。

官給品のスカート調束と、翻し乗る可し可しちがい、ほろ酔いの春の宵が台無し。ファミリア叔、金を返せ。